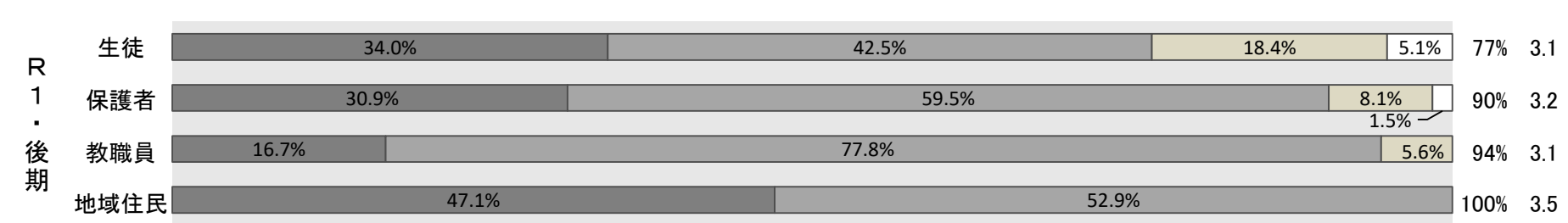
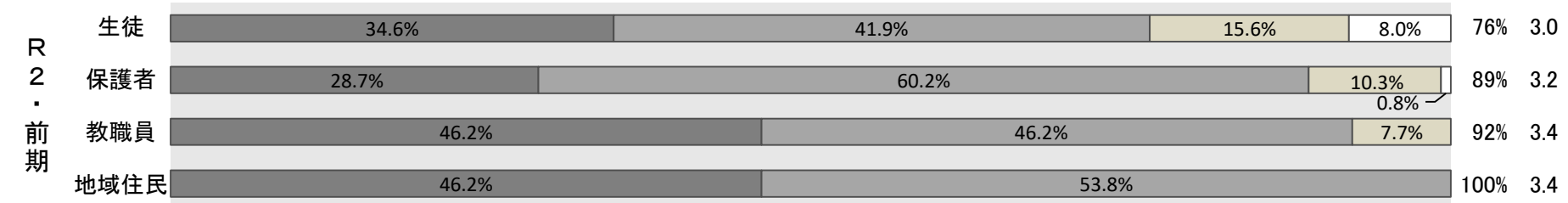
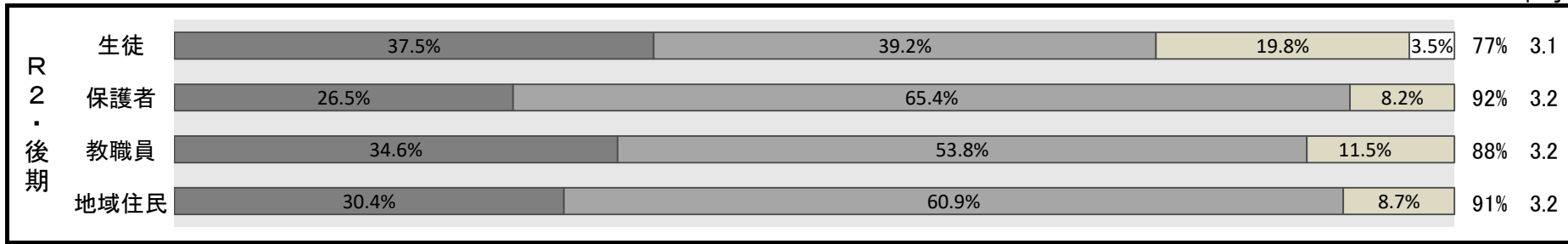


8-1 この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。

(生徒) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。
 (保護者) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでいると思う。
 (教職員) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。
 (地域住民) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



※8-2との違いは、保護者の質問項目(いじめゼロに向けた取組)

前期7月 後期12月

考察 前期(7月)と比較すると、肯定的回答をした生徒及び保護者の割合が増加している。昨年度後期との比較では、生徒の割合は増減がないが、保護者は増加している。特に、「そう思わない」と回答した生徒の割合が少しずつ減少していることが成果と捉えられる。しかしながら、他の項目と比較すると、生徒の肯定的回答率が77%にとどまっている。加えて、教職員や保護者など、生徒を見守る立場の大人より、生徒自身の肯定的回答率が低くなっている点が、重要な課題と受け止められる。引き続き、開発的な生徒指導の推進に加え、生徒会を中心とした取組を行い、支持的風土の醸成を図る。

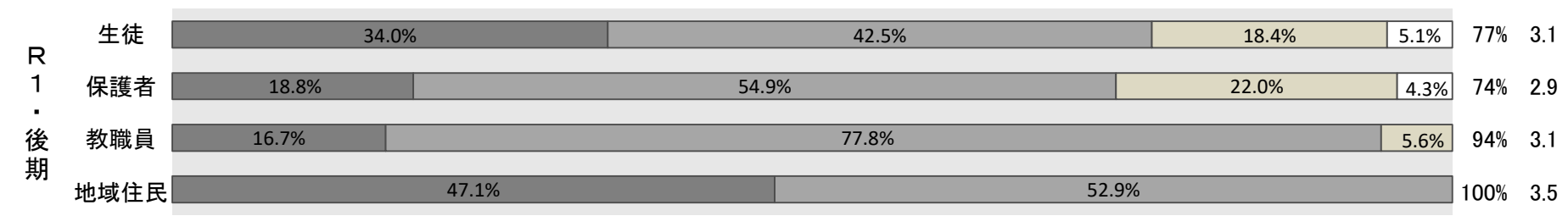
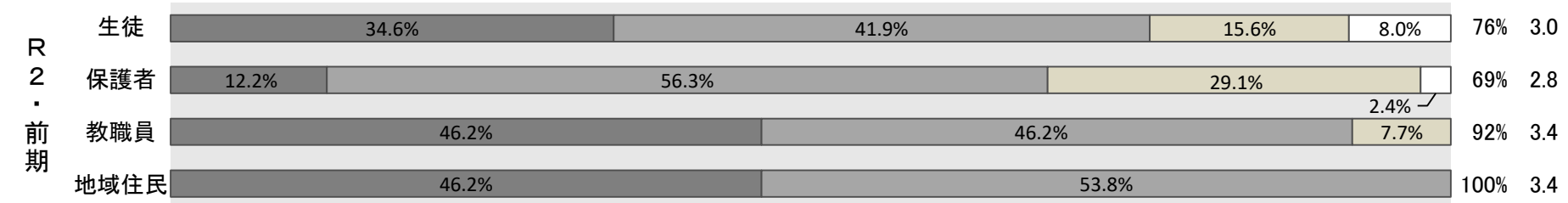
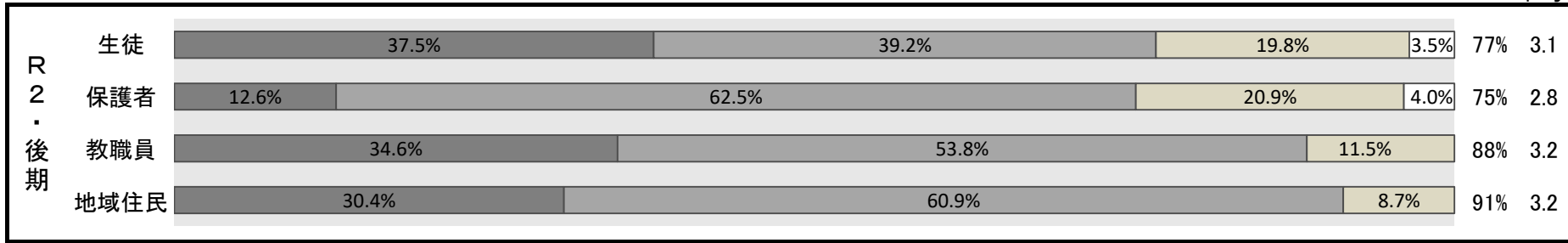
8-2

この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。

(生徒) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。
 (保護者) この学校は、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減っていると思う。
 (教職員) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。
 (地域住民) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



※8-1との違いは、保護者の質問項目(いじめやNGワードの減少)

前期7月 後期12月

考察 前期(7月)と比較すると、肯定的回答をした生徒及び保護者の割合が増加しており、特に、保護者の肯定的回答率が6ポイントと大幅に増加した。しかしながら、他の項目と比較すると、生徒77%、保護者76%とどちらも肯定的回答率が低くとどまっている。8-1のとおり、多くの保護者がいじめゼロに向けた本校の取組を肯定的に評価しているものの、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減っているとは捉えていない保護者は減少傾向にあるものの25%おり、根絶に向けて、改善すべき課題の一つであると認識している。

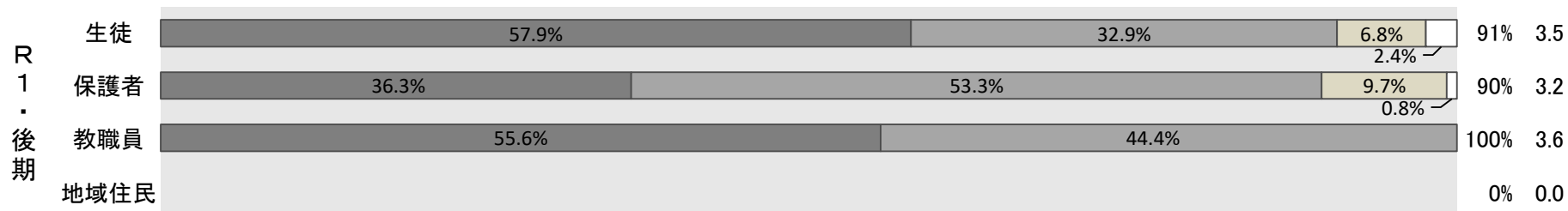
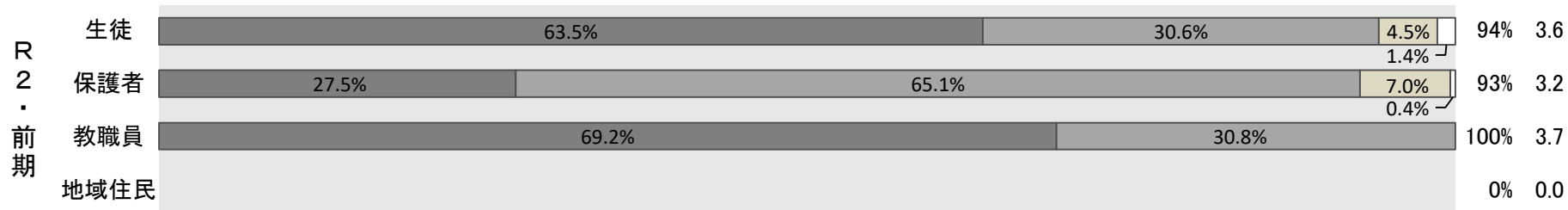
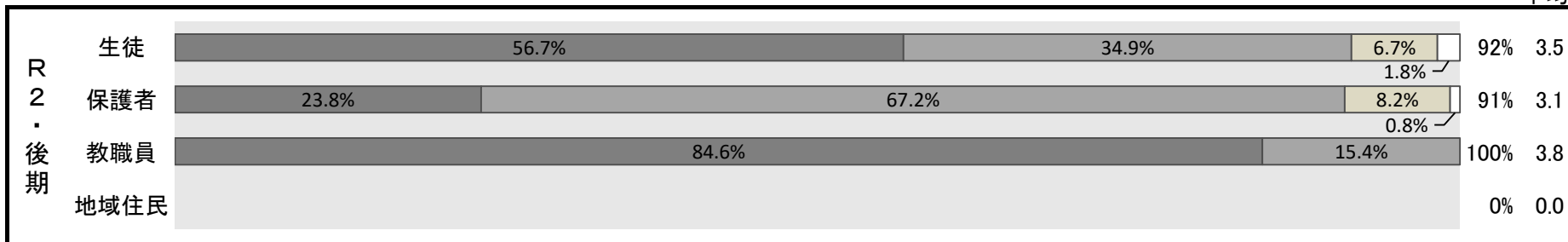
9

先生たちは、いじめで困っている人がいたら、すぐに対応し解決してくれていると思う。

(生徒) 先生たちは、いじめで困っている人がいたら、すぐに対応し解決してくれていると思う。
 (保護者) 教職員は、困っている生徒がいたら、すぐに対応していると思う。
 (教職員) 本校の教員は、いじめで困っている生徒がいたら、すぐに対応し解決している。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

昨年度後期と比較すると、肯定的回答をした生徒及び保護者の割合はどちらも増加している。一方、前期(7月)と比較すると、どちらも2ポイント減少している。学期が進み、人間関係やSNS等でのやりとりが複雑化・多様化する中、1.8%ではあるが、何らかの理由で、「そう思わない」と感じている生徒がいることを真摯に受け止め、引き続き、日々の生活ノートの記入内容や毎週的生活アンケート、日々の見守り活動や教育相談等から生徒の様子をしっかりと把握し、生徒の変化の早期発見に繋げるとともに、その解決に向け、学校・家庭がしっかりと連携し、生徒・保護者の心情に寄り添った対応をしていきたい。

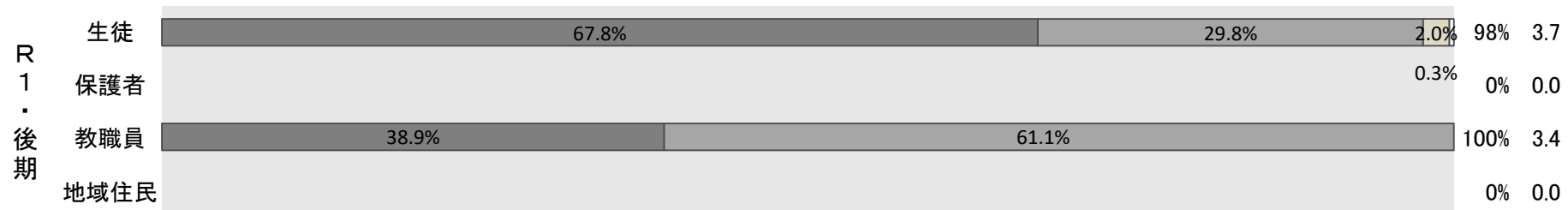
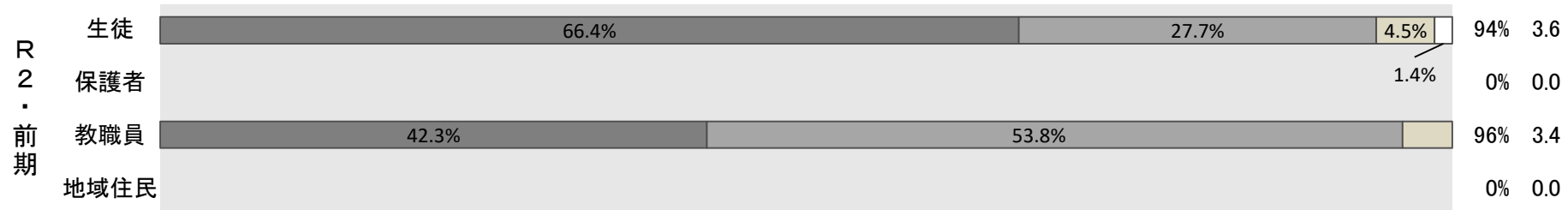
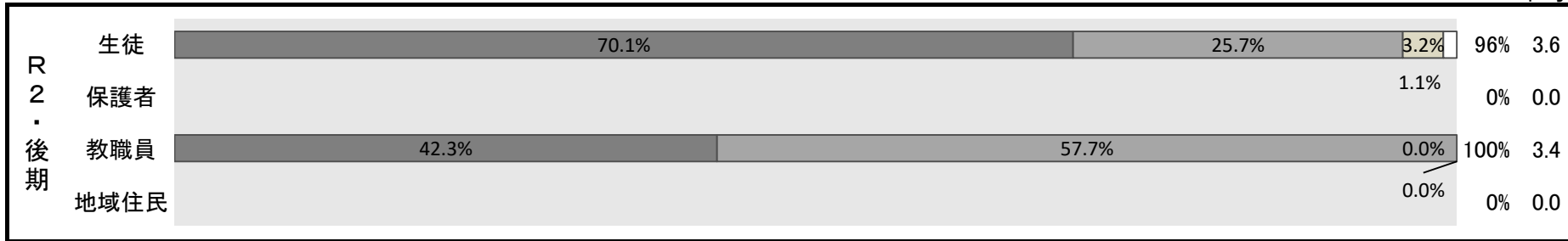
10

あなたは、道徳の授業の中で、友だちの考えに触れ、自分の心と向き合うことができていると思う。

(生徒) あなたは、道徳の授業の中で、友だちの考えに触れ、自分の心と向き合うことができていると思う。
 (保護者) 0
 (教職員) 生徒は、道徳の授業の中で、友だちの考えに触れ、自分の心と向き合うことができていると思う。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

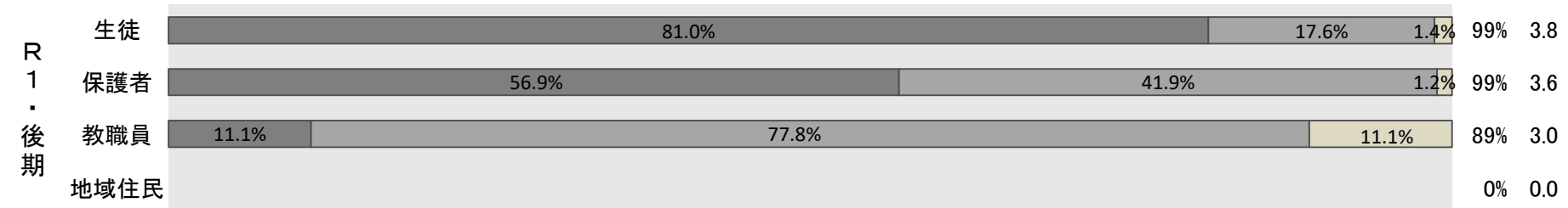
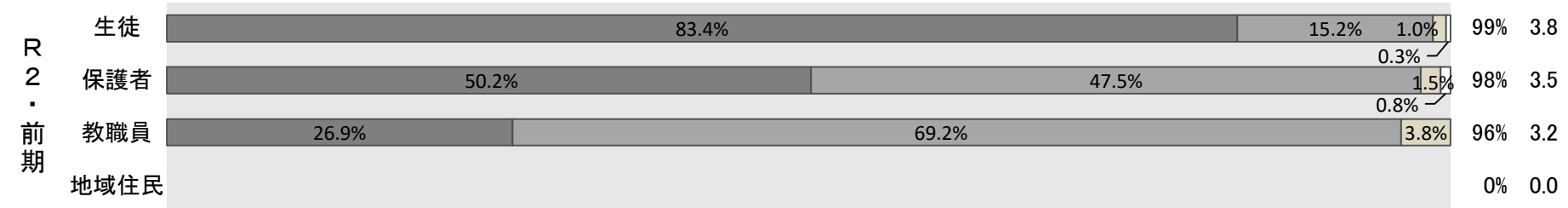
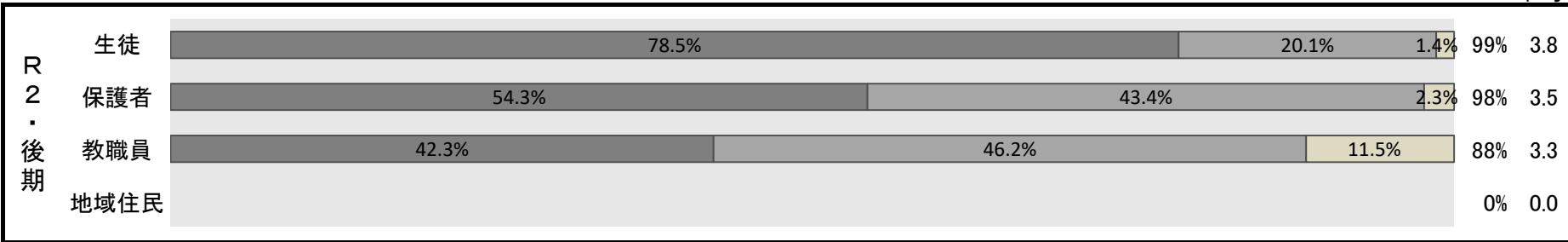
前期(7月)と比較すると、肯定的回答をした割合は、2ポイント増加した。一方、昨年度後期との比較では、「そう思う」と回答した生徒の割合は2ポイント減少している。臨時休業があった1学期と比べ、2学期は道徳授業が計画どおり実施できたため、ポイントの増加につながったと考えられる。引き続き、道徳教育の充実には欠かせない「納得解」を求めるための議論を、感染症対策を講じながら進めていきたい。

11 あなたは、友だちを大切にしている。

(生徒) あなたは、友だちを大切にしている。
 (保護者) お子様は、友だちを大切にしていると思う。
 (教職員) 生徒は、友だちを大切にしている。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う □ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

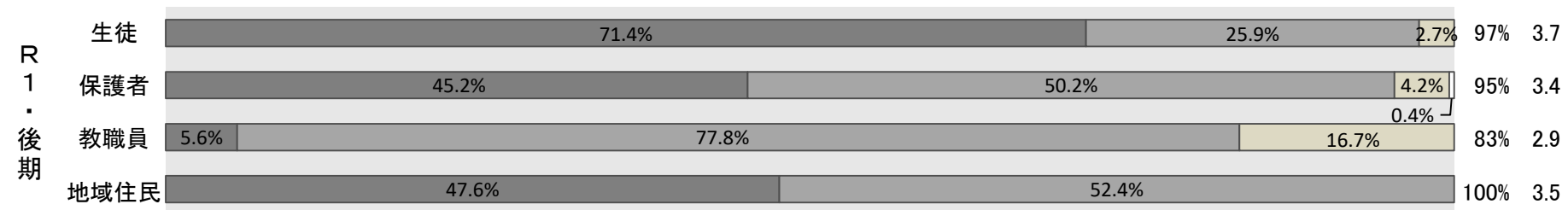
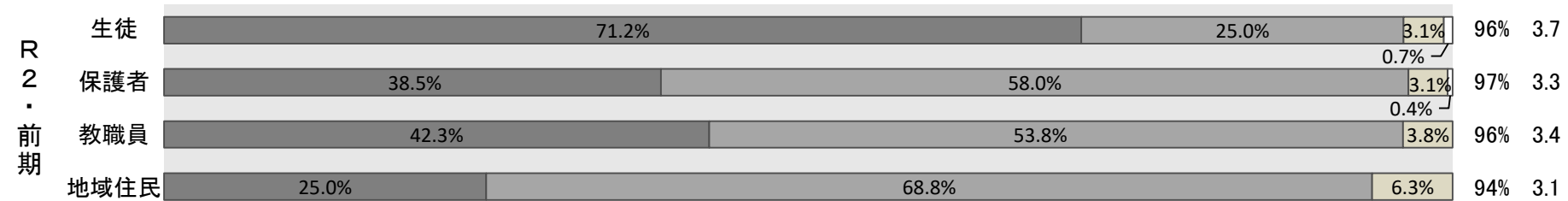
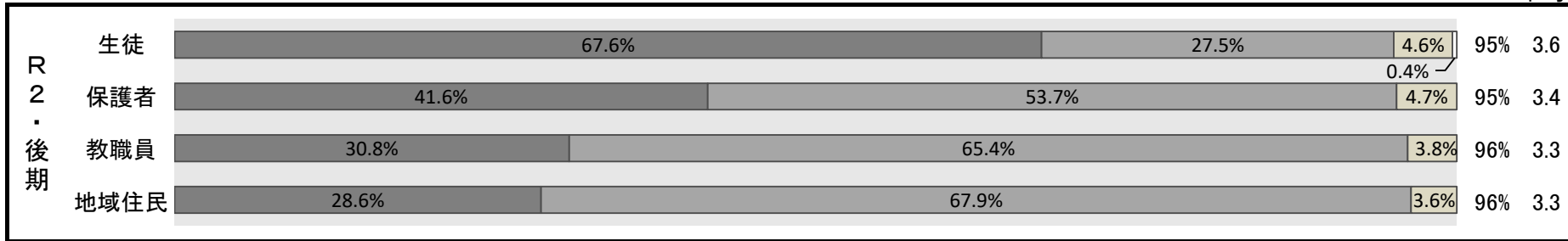
考察 例年と同様に、生徒の肯定的割合は99%という高い割合である。前期(7月)及び昨年度後期と比較では、増減はない。99%の生徒が肯定的な回答をしており、全ての質問項目の中で最も高いポイントであることから、友達との関係づくりは、大人がとらえる以上に、生徒にとって今をよりよく生きる上で重要度が高いことが伺える。

12 あなたは、学校や授業の約束やマナーを大切に生活している。

(生徒) あなたは、学校や授業の約束やマナーを大切に生活している。
 (保護者) お子様は、学校のきまりや授業の約束、公共のマナーを大切に生活していると思う。
 (教職員) 生徒は、学校や授業の約束やマナーを大切に生活している。
 (地域住民) 生徒は、登下校の際に社会のマナーや交通ルールなどを守っていると思う。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う □ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

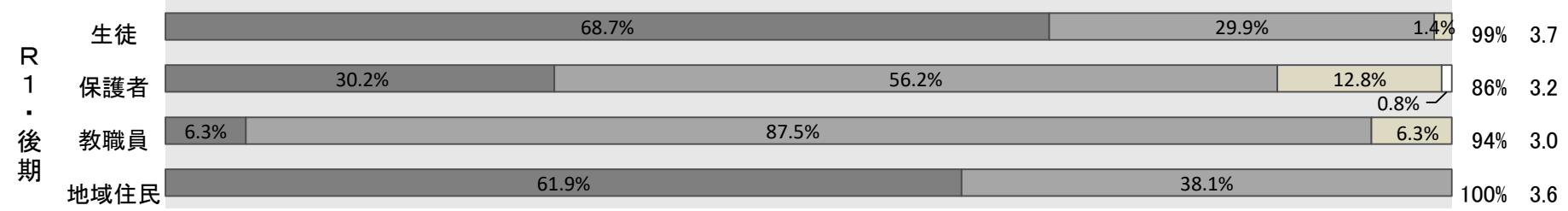
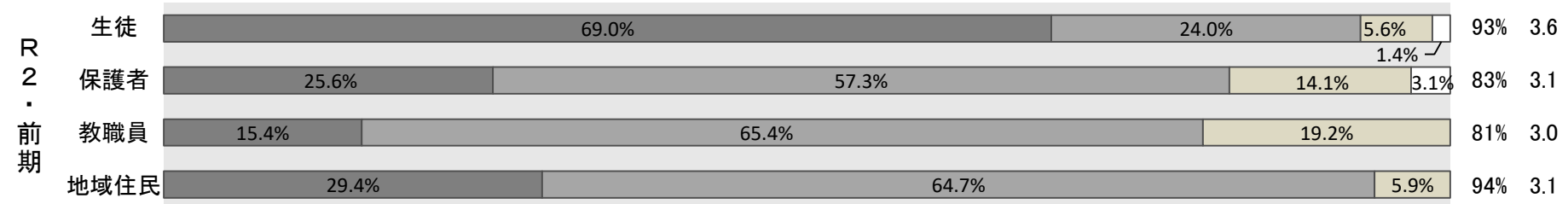
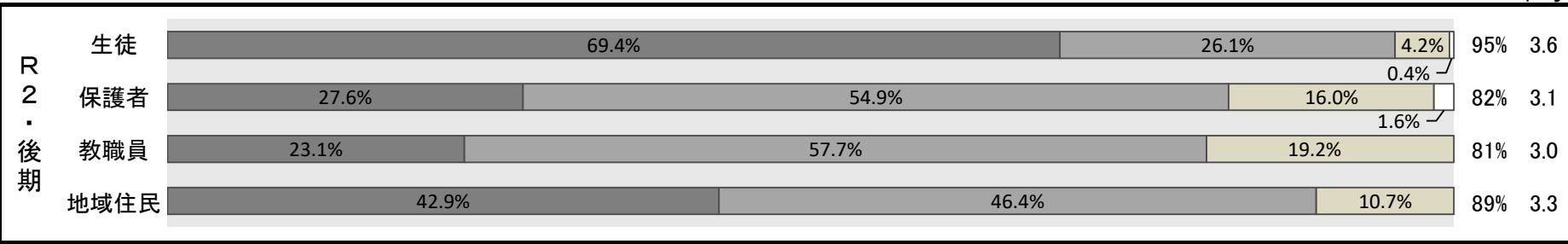
考察 前期(7月)及び昨年度後期と比較すると、肯定的回答をした生徒の割合はわずかではあるが減少している。地域住民の肯定的割合が2ポイント増加しており、マナー等についてはお褒めのお言葉をいただくことも増えてきた。一方、場所によっては、依然として下校中の交通マナーの改善が十分でないため、地域住民からご意見をいただくこともあり、今後も引き続き、指導していきたい。地域住民の子どもを守り育てる当事者意識、または学校に対する期待の現れからいただけるご意見に感謝しつつ、生徒の安全をしっかりと守っていきたい。併せて、学期が進むに連れ、緩みがちな学校生活におけるマナーの改善についても、生徒会を中心に取り組みたい。

13 あなたは、学校や地域で明るいあいさつをしている。

(生徒) あなたは、学校や地域で明るいあいさつをしている。
 (保護者) お子様は、学校の内外で明るいあいさつをしていると思う。
 (教職員) 生徒は、学校や地域で明るいあいさつをしている。
 (地域住民) 生徒たちは、学校や地域で明るいあいさつをしている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う □ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察 前期(7月)と比較すると、肯定的回答をした生徒の割合は2ポイント増加しており、校内において、あいさつが活性化していると実感できる。一方、地域住民の肯定的回答率は5ポイント減少している。後期は、公民館の協力により、学校運営協議会委員以外の地域住民からより多く(前期と比較し1.5倍)の回答をいただくことができた。このことから、このたびの数値がより実態に即していると捉えられる。あいさつは、地域住民にとって、最も生徒の様子がわかるものであるとともに、明るい地域づくりに貢献でき、「地域でめざす子ども像」にも挙げられていることから、引き続き、学校全体で力を入れて取り組んでいきたい。

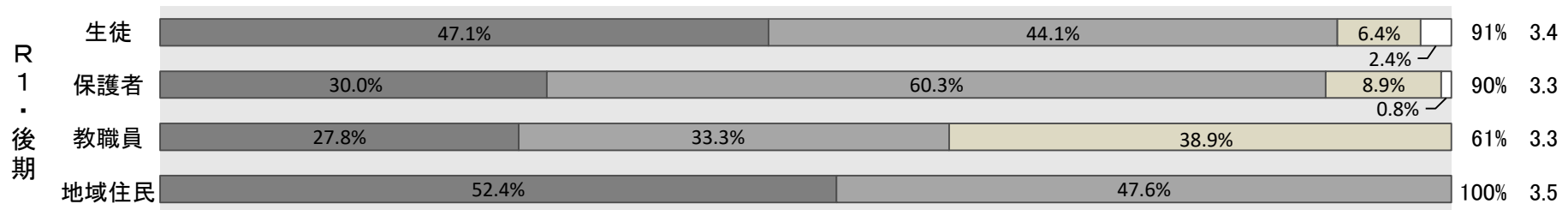
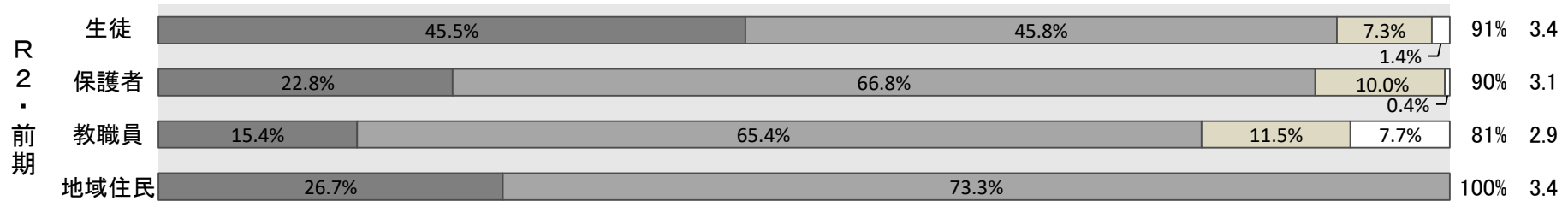
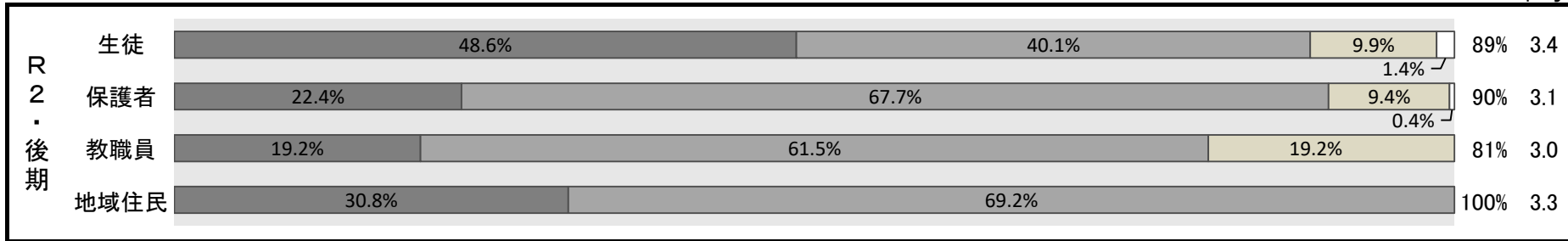
14

この学校は、掃除や環境整備が行き届いて、美しい環境がつけられていると思う。

(生徒) この学校は、掃除や環境整備が行き届いて、美しい環境がつけられていると思う。
 (保護者) この学校は、環境整備が行き届いて、美しい環境がつけられていると思う。
 (教職員) この学校は、掃除や環境整備が行き届いて、学びの場にふさわしい環境がつけられていると思う。
 (地域住民) この学校は、掃除や環境整備が行き届いて、美しい環境がつけられていると思う。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う □ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察 前期(7月)及び昨年度後期と比較すると、「そう思う」と回答した生徒の割合は増加している。校舎自体は古いですが、掃除や環境整備が行き届いている成果であるとともに、エアコン・電子黒板・掲示板、サーキュレーターの設定などが増加の要因であると認識している。一方、学校で生活している生徒の肯定的回答率(「そう思う」と「だいたいそう思う」と回答した生徒の割合)は2ポイント減少しており、自由記述欄に気づき等を挙げている生徒も多かった。床タイルの破損や修繕不能な照明設備等、継続的な課題となっている大規模修繕については、引き続き、市に要望していく。

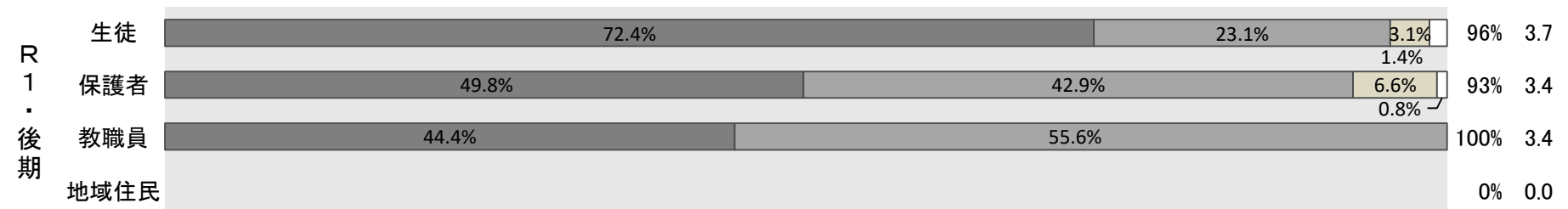
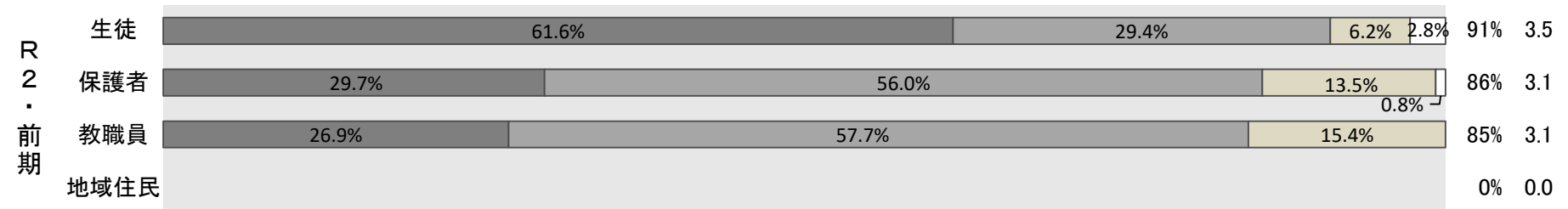
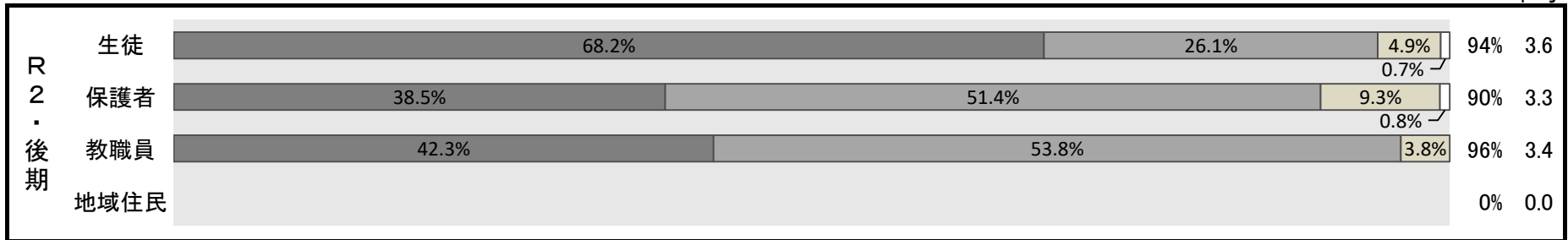
15

あなたは、学級の活動で、仲間と協力して最後までやり遂げてうれしかったことがある。

(生徒) あなたは、学級の活動で、仲間と協力して最後までやり遂げてうれしかったことがある。
 (保護者) お子様は、学級の活動で仲間と協力して物事を成し遂げる達成感を味わったことがあると思う。
 (教職員) 生徒は、学級の活動で、仲間と協力して最後までやり遂げてうれしかったことがあると思う。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察 前期(7月)と比較すると、肯定的回答をした生徒の割合は、3ポイント増加した。2学期は、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら体育大会の代替行事や文化祭、生徒総会などを生徒会を中心に生徒自身の手で一からつくり上げ、成功させた経験が大きな要因と考えられる。また、学期が進むにつれ、専門委員会の活動が充実するとともに、新生徒会の組織づくりが行われるなど、生徒自治の実現に向けた取組の強化が背景にあると考えられる。